

スマートシニアライフ事業とは？(概要)

目的

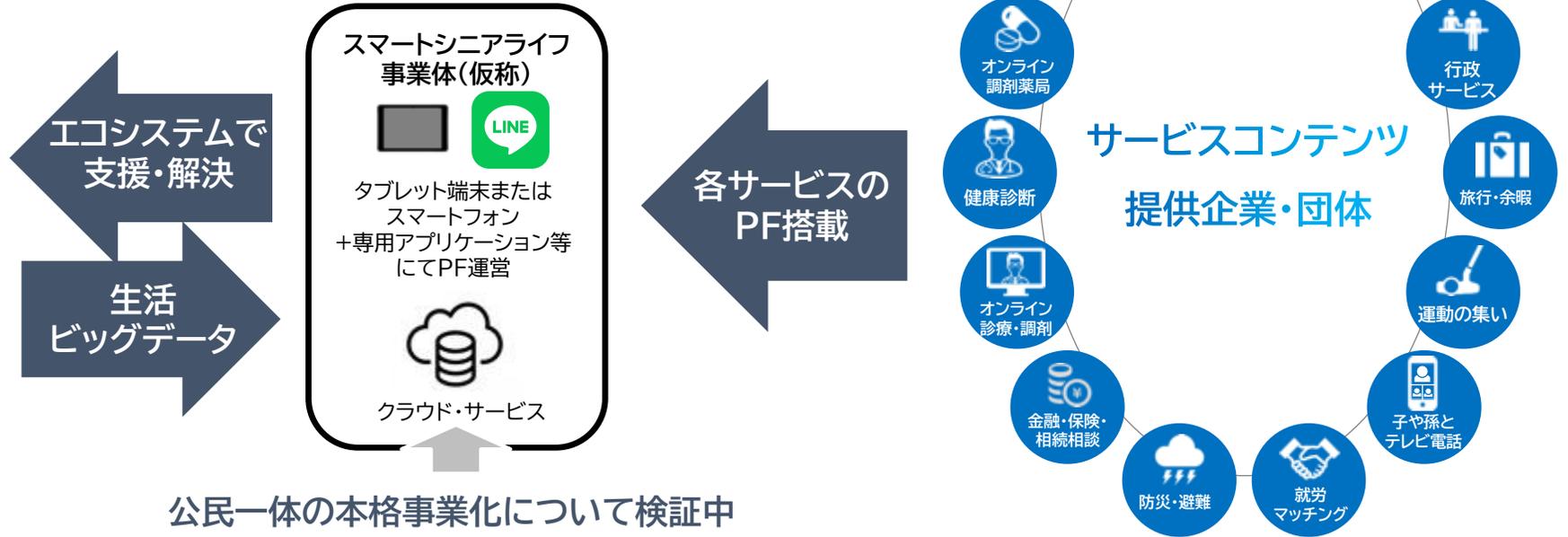
高齢者がいきいきと健康で便利に生活できるよう、高齢者の生活を支援するサービスプラットフォーム(PF)を公民連携で構築し、タブレット等のデジタル端末を活用することにより、行政と民間の様々なサービスをワンストップで提供する実証事業を実施中。
実証にてデータや利用者の声を収集し、事業化【「スマートシニアライフ事業体(仮称)」の設立】について検討していく。

狙い

- ▶ 生活不活発病の削減による健康寿命延伸
- ▶ 生きがい(地域社会や家族とのつながり)提供
- ▶ 不自由なく暮らせる利便性あるサービス
- ▶ 健康支援による国費(医療費・介護費)削減
- ▶ 経済効果に繋げる仕組み(高齢者個人資産1,300兆円の活性化)

概要

シニア層の課題



公民一体の本格事業化について検証中

スマートシニアライフ実証事業(第2期)の概要



実証エリア

大阪市住吉区、東住吉区、生野区



実証期間

令和4年12月5日～令和5年5月31日



実証対象

対象エリアに居住する50歳以上の住民
本事業専用タブレットを約850名に貸出



貸出端末

画面サイズ10インチ
データ通信用SIMカード搭載済(4G/LTE・音声通話不可)
通信容量3GB/月(容量超過後は通信速度低下)
カメラ・マイク・スピーカー搭載済
利用可能なアプリケーションは順次追加
MDMツールにより、アプリ利用制限など遠隔管理が可能



Osaka Prefecture
大阪府域全体でサービス提供



プロモーションイベント等利用者拡大施策を検討中！



第2期実証～参加者募集から端末配布まで～

参加者募集

タブレット配布総数 852台



端末配布説明会の開催

説明会場: 大阪府庁新別館多目的ホールを活用し、全4日間18回開催。
実施内容: 府職員が動画や資料を活用してサービスや使い方等を説明
広報媒体: 市広報紙、新聞折り込み、回覧板、老人福祉センター各教室、
地元のお祭り、府市SNS/HPなど
申込方法: オンライン70%、会場17%、電話13%



受付で本人確認後にタブレットをお渡しし、説明会場で全体説明を行った。



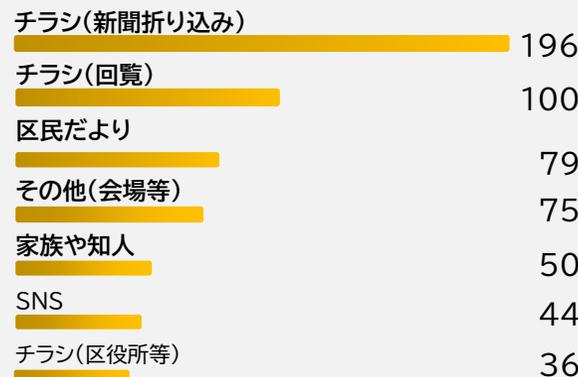
アンケートの実施



Q.スマートフォン所有年数



Q.Wi-Fi環境はあるか



Q.事業を知ったきっかけ